

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあずき		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 28日		～ 2025年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年 1月 28日		～ 2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重度の障がい児に対するノウハウがある。	特別支援学校の利用者を中心に受け入れていることから個々で違うものの、対応方法や注意点など幅広く対応出来ている。	新規職員や慣れていない職員も居るため支援の質の均一化を図る。(高い水準に合わせられる様に指導していく)
2	利用者の対応方法で困った際には職員間で共有をしている。	直接処遇を行っている際に対応に困った職員がいた時にはベテラン職員が代わり、OJTの中で対応方法を伝えている。	対応方法を伝えた際に伝えっぱなしにならない様にして、必ず振り返りを行う。新規職員や慣れていない職員の支援力が向上する事で施設の底上げに繋げていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋数が少なく、ハード面的に窮屈な時がある。	室内の部屋数に限りがあるため室内活動にとどまらず、屋外に出かけて密にならない様、必要な活動空間が確保されるように工夫している。	活動の実施方法や進め方を検討し、現状の利用者様に合わせた個別対応・支援を実施していく。
2	利用者の入れ替わりが少なく、利用者の学年に偏りが見られる。入れ替わりが少ないため循環せずに、新しい利用者が入る枠がない。	高校卒業以外で退所する方が少ないため入れ替わりが少ない。	新規事業所を立ち上げて現利用者を分散させていく。空きが出た際に違う学年の方を入れていく。
3	地域の学校を利用している方が休日に休んでしまう方が多い。	活動内容や行先が恒常化している為、飽きてしまっている可能性がある。また、自宅で過ごす事が出来るため家族で出かける事も多いと思われる。	行先のバリエーションを増やし、楽しんでもらえるような活動・外出先を提供していく。休日だけ利用したい登録者を増やし利用に繋げていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス あずき

公表日 2025年 6月 16日

利用児童数 40人

回収数 28

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	7	2	2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	3	0	5		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	4	0	7		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	4	0	2	たまに迎えに行くとき空気がモンモンしてて換気した方がよさそう。	貴重なご意見ありがとうございます適度に換気を実施させていただきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	4	1	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	3	1	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	2	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	3	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	3	1	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	2	1	4		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	18	0	5	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	3	1	2		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	3	1	2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	3	7	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22	5	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	3	1	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	2	1	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	7	4	11	6	特に必要性を感じない きょうだい向けのイベントは興味ありません。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	4	1	7			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	4	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	3	4	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1	0	4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	3	2	10		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	3	3	11		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1	2	9		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	2	0	6		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	2	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	1	2	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	4	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス あずき		公表日		2025年 6月 16日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	5	工夫として屋外へ出る等を行っている。 利用者の成長に伴い、活動スペースを有効活用出来るように、屋外で活動出来る場で散歩や清掃活動を行っている。また、近隣の屋内で過ごし身体を動かせる場を利用し、集中できるスペースを確保しています。	利用者の成長に伴い体格が大きくなり、スペースは手狭になっている。 スペースを学年に応じて分けたりしているが14~15名利用だとやや狭く物理的スペースは狭いと感じる。 学年で分けている。集中するスペースが必要。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	重度なお子さん、体のおおきいお子さんを支援できる。 職員が少ないが支援できる職員で対応をし、その方法を伝えている。	人員は足りなさもありますが、できれば手厚くなると思う。 時々足りないと感じるが運営を考えると適切だと思う。 重度なお子さん、体のおおきいお子さんを支援できる職員が少ない。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	個室はないが、学年ごとで対応をするため、活動空間を工夫し、クールダウンを行なえる場をつくる努力はしている。	玄関先の階段や柱の出っ張り等がある。 ロッカーは改善が必要だが(玄関側も)おむね適切と感じる。 個室がなくクールダウンできる場がない。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3		壁紙が剥がれ、床が割れていたりしている。 かなり古い建つており、台所等は改善する必要がある。子どもの物品を入れる棚も少ない。 おやつを作るキッチン、食器食具等が古いため清潔さでない。 キッチンの清掃業者を依頼し、改善したい。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	鍵の使用法が誤っていた際には、職員に伝え開設を行ってもらう。	場合によって扉の施設をしましている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3		自分も含め、職員が計画的に動くことはできていない。 はじめて聞いた。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3		毎年同じことは言っているがあまり改善していない。 職員が意識していない。 施設内の意見を聞き職員に説明を行っているが変更望がされにくい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	専門職の意見を聞き利用者にとって必要な活動内容を設定している。	1人の意見に偏ることがある。 専門的職員からの観点からではないと捉えない職員が少ない。誰に言っても聞き入れることが少ない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		分からない。 聞いたことはないです。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			分からない。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	3	職員間で話し、何が足りないかを確認し設定を行うようにするが上手く行かない事もあり改善しようとしている。	何を持って適切とするのが分からない。 各々が主観的な考え、固定概念でのプログラムを行う。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	2	気になった計画があった場合、職員間で共有しその内容が誤っていないかを吟味し、適切な計画になるように動いている。	限られた職員に、主観的目アセス、根拠なく計画を立てているのが見られる。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・担当という職員の言い分も聞いているが、個人的な意見になってしまっている場合は話し合いを行い、何が良い方法なのかをチームで対応を行うおとしていく。	分からない。 担当と云うだけではその職員の合理的思考のみでの利益を子どもにもたせたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	質問があった際には、話し合いの場を設けわからない意見があった職員に伝わりやすいようにわかるように伝えてもらうようになっています。 専門分野外であれば、他の専門職に確認しています。	説明を求めても支援の内容を詳しく教えてもらえない。 わからないと返答されてしまう。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	関わって遊ぶ際には、お子さんの視点や視線で関わり、一緒に遊び喜び何が楽しかったのかを共有出来るように対応を行っている。	小集団、個別のみを行い他の(利用)時間はその子と向き合っ遊ぶことが多い。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	固定化しないように、他者が考えたことに対しミーティング等に振り返り専門職の意見を取り入れながら活動内容の見直しを行うようになっている。	活動を考えることができないため他者が行ったことを再び行うことが多い。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	事前に何をやるか、どうするか何があるかを職員間で話し共有をしています。	考えること、工夫することが少ない、事前に何をやるか、どうするか何があるか等の話し合いが少ない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・ミーティング時にお子さんの様子に変化や気付きに詳しくりと話しを深めています。	6時に帰るため参加できていません。支援の振り返りが少ない。その日の様子（個人）のみが多い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2	記録から、気になることを専門職に確認し適切な内容なのか、何に困っているなどのような課題が的確化を把握しようと努めています。	記録は書くが、改善は誰一人つなげていない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			わからない
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	2		主観での把握しかしていない。客観視する者はいない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	2	適切な声かけが行えるように、指導をしています。	こうしなさい、だめ、もう〜と職員都合で動かされたため否定的な言葉が多い。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		わからない。あまり機会がない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		わからない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	適切に全職員に共有がされていない点は不足点は申し訳ないと思います。適切に共有が行えるように、ミーティング等を活用します。	一部の職員は行うが共有があまりない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	今年度は学校卒業生はいなかったため実施していないが、過去に障害福祉サービス事業所等へ移行する際は実施した。	移行先がないため、ほとんど機会がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		わからない。初めて聞きました。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	地域のお子さんとの関わりを持つ会を企画を行った。規模は小さいが交流を持つことができた。	地域のこどもの交流よりも会社内の施設での交流を優先している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		わからない。初めて聞きました。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		わからない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	2		わからない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	難しいことありますが、ご利用いただく方の思いを受け止め、出来る限り寄り添えるように対応しております。	わからない。保護者の意見だけでなく、会社や施設の考えにも耳を傾けて欲しいと言われました。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	3		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4		わからない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	2	定期的に通信を発行しています。ホームページの更新頻度が落ちておりました。しっかりと指導していきます。	ホームページ担当者があまり機能しなかった。指示がうまく伝わらなかった。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	3	不慣れた利用者に対しては、ベテラン職員が対応をし、対応方法を見てもらったり、対応できるように指導を行っています。	利用者によって開りにバラつきがでてしまう時がある。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	地域住民の方に知って頂けるような企画を行いました。お子さんが考えたチラシを配り情報発信はさせてもらっています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	3		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		研修の場を設けたり、支援にあたっては職員間で利用者様への対応が正しかったのか、言動は適切だったのかを伝え、開く際の対応を考えるようにしている。	指示の入らないうちにお子さんにに対して態度に出てしまう職員がいる。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				